

授業科目	発達臨床心理学					実務家教員担当科目	-							
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	後期							
担当教員	水貝 淳子													
授業概要	<p>対人援助場面において、自閉スペクトラム障害をはじめとする発達障害児者への支援のニーズが高まっている。本講義では、自閉スペクトラム障害を取り上げ、医学的理解や診断的理解にとどまらず、心理社会的視点から当事者の体験について理解を深めていく。</p> <p>さらに、幼児期から思春期までの発達障害児者への心理支援の方法として「ソーシャルストーリー」「グループセラピー」「臨床動作法」を取り上げる。支援方法の概要について解説を行うとともに、対象児者に応じた目的や配慮点についても検討する。これらの検討を通じ、障害者支援における対象者理解の在り方や支援者の基本的姿勢について理解を深めていく。</p>													
授業形態	対面授業			授業 方法	ディスカッション グループワーク プレゼンテーション									
学生が達成すべき行動目標														
標準的レベル	<p>1. 自閉スペクトラム障害児者がその障害特性を抱えながら社会生活を送るうえで経験しやすい困難などについて、ライフスタイルの視点を踏まえ説明することができる。</p> <p>2. 発達障害児者を対象とした臨床心理学的支援方法に関して、その概要や目的を説明できる。</p>													
理想的レベル	標準的レベルに加え、当事者の体験や臨床心理学的支援方法に関する学習内容を踏まえ、自閉スペクトラム障害児者への適切な支援の在り方や支援者の基本的な姿勢について考えることができる。													
評価方法・評価割合														
評価方法			評価割合（数値）			備考								
試験			60%											
小テスト			0											
レポート			15%											
発表（口頭、プレゼンテーション）			25%											
レポート外の提出物			0											
その他			0											
カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング														
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	WE31408J			
学習課題（予習・復習）									1回の目安時間（時間）					
該当箇所の復習および授業内で扱った話題についての調べ学習									4					
授業計画														
第1回	<p>テーマ：オリエンテーション</p> <p>本講義のオリエンテーションを行ったのち、自閉スペクトラム障害の診断基準や障害特性について解説する。</p>													
第2回	<p>テーマ：ライフサイクルごとにみた自閉スペクトラム障害児者の状態像の理解1</p> <p>自閉スペクトラム障害当事者（当事者1）の手記やその手記を分析対象とした文献の読み合わせを行い、社会生活における当事者の体験についてライフサイクルの視点から理解を深めていく。</p>													

第3回	<p>テーマ：ライフサイクルごとにみた自閉スペクトラム障害児者の状態像の理解2 自閉スペクトラム障害当事者（当事者1）の手記や手記を分析対象とした文献の読み合わせを行い、社会生活における当事者の体験についてライフサイクルの視点から理解を深めていく。</p>
第4回	<p>テーマ：ライフサイクルごとにみた自閉スペクトラム障害児者の状態像の理解3 グループに分かれ、自閉スペクトラム障害当事者（当事者2および3）の手記や手記を分析対象とした文献の読み合わせを行い、社会生活における当事者の体験についてライフサイクルの視点から理解を深めていく。また、グループごとに発表準備を行う。</p>
第5回	<p>テーマ：ライフサイクルごとにみた自閉スペクトラム障害児者の状態像の理解4 各グループごとに、担当した自閉スペクトラム障害当事者の体験についてまとめ、全体に向けて説明・発表を行う。複数の自閉スペクトラム障害者の体験に触れ、ライフサイクルごとに共通する体験や障害特性の現れ方の個別性について理解を深める。</p>
第6回	<p>テーマ：ライフサイクルごとにみた自閉スペクトラム障害児者の状態像の理解5 前半の学習のまとめとして、内容を振り返りつつ、発達心理学や臨床心理学の視点から補足説明を行う。</p>
第7回	<p>テーマ：ソーシャルストーリー1 自閉スペクトラム障害をはじめとする発達障害児者を対象とした臨床心理学的支援として、ソーシャルストーリーを取り上げ、支援の目標や方法について解説する。</p>
第8回	<p>テーマ：ソーシャルストーリー2 自閉スペクトラム障害をはじめとする発達障害児者を対象とした臨床心理学的支援として、ソーシャルストーリーを取り上げる。個別ワークやグループワークとして、実際にソーシャルストーリーを作る。ソーシャルストーリーの作成を通じ、ソーシャルストーリーの支援目標や留意点についての実際的な理解を深める。</p>
第9回	<p>テーマ：ソーシャルストーリー3 ソーシャルストーリーを用いた支援事例を提示し、臨床場面で用いる際の工夫や応用の仕方について学習する。</p>
第10回	<p>テーマ：グループセラピー1 自閉スペクトラム障害をはじめとする発達障害児者を対象とした臨床心理学的支援として、グループセラピーを取り上げる。児童期を対象としたグループセラピーの概要について解説した後、事例の提示や実際のプログラムの演習を行う。自閉スペクトラム障害児者にとってどのようなグループ体験が心理支援に繋がるのかについて実際的に学習する。</p>
第11回	<p>テーマ：グループセラピー2 思春期を対象としたグループセラピーの概要について解説した後、事例の提示や実際のプログラムの演習を行う。自閉スペクトラム障害児者にとってどのようなグループ体験が心理支援に繋がるのかについて実際的に学習する。</p>
第12回	<p>テーマ：グループセラピー3 ロールプレイングを用いたグループセラピーの事例の提示や演習を行う。自閉スペクトラム障害児者を対象にロールプレイングを用いることの意義や用いる際の留意点について、実際的に学習する。</p>
第13回	<p>テーマ：臨床動作法1 自閉スペクトラム障害をはじめとする発達障害児者を対象とした臨床心理学的支援として、臨床動作法を取り上げる。臨床動作法の概要について解説した後、演習として実際に臨床動作法に取りく</p>

	む。臨床動作法の体験について振り返り、どのような体験が自閉スペクトラム障害児者の心理支援に繋がるのかについて実際的に学習する。
第14回	テーマ：臨床動作法2 臨床動作法の演習および臨床動作法を用いた事例の提示を行いながら、自閉スペクトラム障害児者を対象に実施する際の留意点や支援展開について理解を深める。
第15回	テーマ：まとめ 後半の学習のまとめとして、授業で扱った臨床心理学的支援の方法を比較しながら、それぞれの特徴や強みを整理する。
テキスト	授業中に適宜資料を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『発達障害の理解と対応 心理臨床の視点から』田中千穂子（編著）金子書房
課題に対するフィードバックの方法	レポートを通じて出された授業内容に関する質問やコメントについては、適宜授業内で紹介し回答を示す。
学生へのメッセージ・コメント	発達心理学Ⅰ・Ⅱ、障害者心理学、発達アセスメント演習を履修していることが望ましい。 障害者を取り巻く環境や支援、制度について関心を持ち、ニュースや書籍などに積極的に触れるこ と。また、ニュースや本の知識に触れるだけでなく、当事者にとってはどのような意味をもつのか 考える姿勢をもってもらいたい。

